

岐阜県経済の現状のポイント（平成 26 年 6 月分）

【景況感】

景気は緩やかに回復している。

【製造業】生産、売上は、輸送用機械関連を中心に好調を維持

○製造業全体では輸入原料の高騰によるコスト高が続いているが、輸送用機械関連を中心に受注や生産は好調を維持している。

【地場産業】一部の業種を除いて厳しい状況が続いている

○消費増税前の駆け込みで好調だった木工も生産に落ち着きを見せ始め、他の業種については依然として消費意欲の減退や海外製品との競合、原材料費の値上がりなどにより厳しい状況が続いている。

【消費】消費増税に伴う駆け込み需要の反動減が見られる

○消費増税前の駆け込み需要の反動減が見られる。食料品は回復基調にあり、衣料品は回復の兆しを見せているが、自動車や家電、住宅関連は回復が鈍い状況にある。

【観光】インバウンドは台湾等を中心に引き続き好調

○施設によってバラつきはあるものの、トータルで見た宿泊客数はやや前年を上回った。インバウンドは例年、ピークアウトする時期であり、前月に比べると勢いは衰えているものの、台湾等を中心に好調を維持している。

【雇用】業務量が増加し人手不足が発生している企業がある

○製造業を中心に、生産量や業務量の増加に伴い人材の確保に努める企業が多数見受けられ、求職と求人のミスマッチも出始めている。

【設備投資】設備投資意欲が増加し、実績も増加傾向

○設備投資の目的のうち、「補修・更新」といったやむを得ない理由が減少し、「生産能力拡大・売上増」といった前向きな設備投資が増加、投資実績も増加している。設備投資意欲も改善傾向が続いている。

【資金繰り】資金貸付実績に下げ止まりの兆し

○企業の資金繰りは横ばい状態が続いており、新規借入れ需要は低調だが下げ止まりの兆しが感じられる。